

再評価調書（再々評価）

事業名	淀川水系 免除川 通常砂防事業				
所在地	交野市 倉治				
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	都市に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。			
	内容	溪流保全工 護岸工 L = 350m			
	事業費	全体事業費 計画 約 9.8億円      投資事業費 約 9.2億円 内用地費 計画 約 4.8億円      内用地費 約 4.8億円 (土地単価約 8.1万円/m <sup>2</sup> ) 内工事費 計画 約 5.0億円      内工事費 約 4.4億円 (工事単価約 142.9万円/m) 再評価時点における事業費 約 9.8億円			
	維持管理費				
	上位計画	大阪府都市基盤中期整備計画(案)			
	関連事業				
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	再評価時点	現時点	分析 計画時の年次別事業費の確保が困難となり、日時を要したため。
		事業採択年度 S63	S63年	S63年	
		事業着手年度 S63	S63年	S63年	
		完成予定年度 H3	H11年	H16年	
進捗状況	用地 - %	用地 100 %	用地 100 %		
	工事 - %	工事 83 %	工事 88 %		
途中段階の整備効果発現状況	護岸整備により河道の安定を図り、出水時における氾濫を防止し、保全対象の安全を確保する。				
事業進捗に関する課題					

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	再評価時点での状況	現時点での状況	分析
		災害発生危険度 流域の地質は脆弱な風化花崗岩で形成され、溪岸侵食が著しく、溪床には転石が堆積しており、出水時には下流人家への被害が及ぶ危険性がある。	同左	同左	諸状況に変化なし。
	地元等の協力体制	防災事業として認識されており、事業に対する協力を全面的に得ている。	同左	同左	地元等の協力体制に変化なし。

		計画時の想定		備考	再評価時点での状況	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益分析の手法が確立されておらず、算出できず。			費用便益分析は行っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 6 . 4 4</li> <li>便益総額</li> <li>B = 8 1 . 7 億円</li> <li>総費用</li> <li>C = 1 2 . 7 億円</li> <li>具体的な便益内容</li> <li>人命、財産の保護</li> <li>受益者 地域住民、府民</li> <li>算定の根拠</li> <li>国土交通省河川局計画課監修</li> <li>「治水経済調査マニュアル」</li> <li>国土交通省河川部砂防部（H15）</li> <li>「土石流対策事業の費用便益 分析マニュアル」</li> </ul>	砂防事業による十分な費用対効果が期待できる。
	その他の指標（代替指標）						
事業効果の定性的分析	安全・安心	土砂災害による被害の軽減が図れる。		・ 受益者など 地域住民	変更点特になし	変更点特になし	工事進捗どおり、土砂災害による被害の軽減が図れている。
	活力						
	快適性						
	その他						
自然環境等への影響と対策	周辺の自然環境に配慮し、自然石を用いた護岸を採用。				変更点特になし	変更点特になし	自然石により、周辺の自然環境に整合した整備となっている。
その他特記すべき事項	前回再評価時の意見具申・府の対応方針の概要	（意見具申）  （府の対応方針） 事業継続	今回再評価時点の反映状況				